

施策マネジメントシート(2023年度の振り返り、総括)

作成日 2024 年 1 月 15 日

基本目標	IV	豊かな心と文化を育むまち					
施策	21	文化財の保存と活用	主管課	名称	生涯学習課	関係課	
				課長	丸山 浩文		
				担当係	生涯学習係、施設管理係		
							

目的と基本方針	歴史文化への関心を高めるため、文化財を適切に保存・活用する
	- 文化財が後世に継承されるよう、文化財の保護に努めます。 - 歴史文化への関心を高められるように、文化財の活用に努めます。 - 伝統芸能の後継者を育成しやすくするためには、保存団体を支援します。

考え基本事業の	- 文化財が適切に保存されるために、所有者・管理者による指定文化財管理を支援する。 - 人々が歴史文化への関心を高めるために、資料館および名胡桃城址の見学者数増加に努める。
---------	--

基本事業	基本事業名	対象	意図	取り組み方針
	1 文化財の保護	指定文化財	適切に保護される。	指定文化財管理状況調査の中で文化財管理(保護活動)に関わった人数を把握し、活動を支援します。
	2 文化財の活用	町民・観光客	歴史文化に触れ文化財が活用される。	歴史文化への意識を高めるために、資料館と名胡桃城址の展示内容を定期的に見直して見学者数を増やすなど、文化財の活用を積極的に進めます。
	3 文化財の保存	伝統芸能	記録される。	後継者が減少し存続の危機にある伝統芸能を中心に、映像として記録し後世に継承する。
	4			

施策を取り巻く状況	1. 施策の現状 - 地域の伝統芸能に参加している町民の割合は減少傾向にあり、コロナ禍以外の要因として、伝統芸能を担っている住民の高齢化と人口減少、さらに関心の低さが考えられる。一部地域では、伝統芸能の存続自体が危惧されている。 - 指定文化財については、文化財指定を答申する文化財調査委員会において、「指定文化財を厳選し、現在指定されている文化財のさらなる管理活用に重点をおく」と方針が変更された。 - 地域で継承されている伝統芸能の中には、コロナ禍以降休止されている伝統芸能が非常に多くなっており、感染症対策を施せば実施できる行事も、積極的な再開にまで至らないという地域がある。	2. 施策の課題 - 地域の伝統芸能への参加については、文化財だけでなく地域づくり・まちづくり・コミュニティ活動の要素もあり、広い視点から考える必要がある。 - 指定文化財については、文化財調査委員の意見をふまえて、数を増やすのではなく管理と活用内容を重視する必要がある。
	3. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化する？ - 高齢化・人口減少に伴い、今後地域行事の一つである伝統芸能の参加者は減少していくと思われる。 - 指定文化財を増やすよりも、現在指定されている文化財のさらなる管理活用に重点が置かれるようになり、地域遺産制度を活用する場面が増加する。 - 高齢化・人口減少に伴い、今後存続できる伝統芸能は減少していくと思われる。	4. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ - 伝統芸能の継続について、その担い手である地域住民からは、続けていきたい気持ちはあるが実際には高齢化・人口減少のため難しい、というのが本音である。 - 文化財の保存と活用については、議会、住民から常に修繕や新たな指定などの要望がある。

施策のための目的・役割分担達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割 - 文化財所有者・管理者は、文化財が適切に保存・活用されるように日常から維持管理する。 - 文化財関連イベントに参加し、資料館や史跡、天然記念物を訪れる。 - 地域の伝統芸能(神社の祭り等)に積極的に参加する。観覧する。	2. 行政(町、県、国)の役割 - 文化財の状態を定期的に確認し、所有者・管理者が文化財を適切に保守管理できるよう支援する。 - 関係機関と連携し、現状の資料館展示だけでなく、文化財の活用方法を検討する。 - 地域の伝統芸能が継続できるよう支援する。
-----------------	---	--

施策	21	文化財の保存と活用	主管課	名称	生涯学習課
				課長	丸山 浩文

施策の成果指標	成果指標名		単位	区分	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
	A	活用・公開されている指定文化財数(見学できる、または紙面・SNSに公開されている指定文化財数)	件	実績値	81	85	85				
				目標値		—	82	83	83	84	84
	B	地域の歴史や伝統芸能に触れている人の割合	%	実績値	13.5	14.1	18.8				
				目標値		—	14.6	15.0	15.0	15.5	15.5
	C			実績値							
				目標値							
D				実績値							
				目標値							

成果指標の達成状況	A	達成	成果増減の要因	A	伝統文化(獅子舞、太々神楽等神社の祭り)などはコロナ禍の状況が良くなるにつれて再開する地域が増えてきている。
	B	達成		B	伝統文化などが再開されコロナ前の水準まで回復しているが、参加者・見学者は限定的である地域が多く、祭典等の簡略化が進んでいる。
	C			C	
	D			D	

基本事業の成果指標	基本事業名		指標名		単位	区分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	1	文化財の保護	A	文化財の保護活動者数	人	実績値	201	280	353				
						目標値		600	200	210	210	210	220
			B			実績値							
						目標値							
	2	文化財の活用	A	文化財見学者数(月夜野郷土歴史資料館・雲越家住宅資料館・猿ヶ京閤所資料館・永井宿郷土館・名胡桃城址)	人	実績値	13,380	20,233	21,186				
						目標値		21,000	13,500	13,500	14,000	14,000	14,000
			B			実績値							
						目標値							
	3	文化財の保存	A	デジタルアーカイブ化された文化財の累積数	件	実績値	—	0	0				
						目標値		—	1	2	3	4	5
			B			実績値							
						目標値							
	4		A			実績値							
						目標値							
			B			実績値							
						目標値							

基本事業 取り組み状況・増減の分析・課題・取り組み	取り組み状況		目標に対する増減の要因分析	現状の課題	具体的な取り組み
	1	指定文化財管理状況調査を行い、その中で文化財管理者の要望等を聞き取っている。また、県指定文化財(羽場日枝神社獅子舞、古馬牧人形)等についてはお祭り以外の発表会にも出られるよう積極的に支援した。	文化財保護活動者数は確実に回復し目標値に達している。神社のお祭りなどは完全に復活していないが、演目を省略するなど工夫して実施する所が増えている。	いまだ復活できていない獅子舞、神楽等伝統文化がある。コロナによる中断から完全な再開に導くためにはかなりのエネルギーが必要。加えて高齢化等により後継者が不足している。	県指定文化財の「古馬牧の人形浄瑠璃」、「羽場日枝神社の獅子舞」に加え、町指定文化財やそれ以外の無指定文化財等の活動についても積極的に支援していく。
	2	月夜野郷土歴史資料館の管理については個人雇用ではなく、事業所(三成社)に開館業務を委託し、100%開館を実現した。	コロナ感染症の5類移行後、確実に見学者が増加し目標値に達している。この要因はコロナ後に城跡などを訪れる人が増えてきたことによるものと考えられる。	専属の学芸員はいないが、資料館の展示替えや企画展示を行う必要がある。	月夜野郷土歴史資料館では常設展の展示替えに加え、他の資料館から資料を借りるなどして企画展の開催を進める。
	3	猿ヶ京閤所資料館では過去に撮影した永井宿の伝統行事等の映像記録を放映した。	コロナ禍が完全に払拭されたわけではなく、春祭りを再開していない神社が多くあり、撮影できない。	2～3年間にわたる行事中止という事態は伝統芸能を継承する地元の人たちにとってとても影響が大きく、指導者も含めてとりまとめ役が減ってきてしまっている。	獅子舞、太々神楽等の伝統芸能を中心に映像記録を作成するよう心がけている。
	4				

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000005		文化財保護総務事業						① 事務事業の内容						③課題解決のため取り組んだ事、その結果						事業費		107,913 円		
施策 体系	施策		21		文化財の保存と活用						文化財調査委員を招集し、文化財の保護と啓発普及のために調査委員と連携して文化財全般に関する調査研究を行う。						文化財調査委員(6人)の協力を得ながら、指定文化財を中心に保護活動に努めている。						事業実績			
	基本事業		01		文化財の保護						②事務事業の課題						④今後の方針・課題解決策						資料館(月夜野・水上・雲越)見学者数			
	組織名		生涯学習 課				生涯学習 係				人材不足のため職員の従事が社会教育事業に終始してしまい文化財にまで及ばない状況が続いている。						文化財調査委員をはじめ他市町村や県の協力を得ながら、文化財の保護に努めていく。									
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項		5 目		4								令和 4年度		令和 5年度		単位		
																				469		521		人		

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000006		文化財啓発事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	118,253 円	
施策 体系	施策	21		文化財の保存と活用				従来は文化財の保護が重視されていたが、近年は活用も含めた施策の展開が求められている。この啓発事業により観光資源としての活用を含めた啓発事業を行う。				名胡桃城址パンフレットを現地案内所および沼田公園観光窓口に配布した。				事業実績		
	基本事業	02		文化財の活用												名胡桃城址来場者数		
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策					
組織名		生涯学習 課		生涯学習 係				活用に際しては、一過性ではなく恒常的な活用を進めることが求められる。				名胡桃城址については、比較の見学者が多く来る。この状態を保つために便宜施設の保全、パンフレットを配布に努める。				令和 4年度	令和 5年度	単位
事業 期間		継続事業		会計	1	款	10									項	5	目

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000003		町指定文化財管理事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		258,058 円			
施策 体系	施策		21		文化財の保存と活用				文化財保護事業の中でも町指定文化財に限定した管理事業。現在、73件のみなみ町指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。				指定文化財管理自体は特筆すべき事業は行わなかったが、町指定文化財を多く展示している月夜郷土歴史資料館において来館者を増やすため「若山牧水特別展示」を行い、実際に来場者は令和4年度から令和5年度にかけて269人から421人に増加した。				事業実績				
	基本事業		01		文化財の保護				②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				月夜郷土歴史資料館見学者数(町指定文化財を展示している)				
	組織名		生涯学習 課		生涯学習 係				○令和5年度においては、町指定文化財所有者・管理者からは特筆すべき要望等はなかった。引き続き、所有者・管理者へ文化財保護の推進を周知していく。				文化財の保護だけでなく、所有者・管理者に協力を仰ぎながら活用についても推進できるよう努めていく。				令和 4年度		令和 5年度		単位
事業 期間		継続事業		会計		1 款		10 項		5 目		4		269				421		人	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000002		県指定文化財管理事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		2,376,044 円				
施策体系	施策		21		文化財の保存と活用				文化財保護事業の中でも県指定文化財に限定した管理事業。現在、22件の県指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。				猿ヶ京関所跡の老朽化については、茅葺き屋根専門職人に相談し、直すべき箇所を確認した。 関所裏手の空き地については、地元からの要望に基づき道路との境目に景観にあわせた柵を設置した。				主な文化財の見学者数(名胡桃城址)					
	基本事業		01		文化財の保護																	
	組織名				生涯学習 課				生涯学習 係				②事務事業の課題								④今後の方針・課題解決策	
事業期間		継続事業		会計	1	款	10	項	5	目	4	猿ヶ京関所跡の老朽化が目立つようになってきている。県指定史跡のため、県文化財保護課と協議しながら修繕を進めていく必要がある。				猿ヶ京関所跡については、茅葺き屋根の傷みが著しくなっている。毎年、少しずつ修繕を実施することにより、なるべく大規模改修しなくて済むようにする。				令和 4年度	令和 5年度	単位
																				18,407	19,581	人

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000001		国指定文化財管理事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		1,299,533 円			
施策 体系	施策		21		文化財の保存と活用				文化財保護事業の中でも国指定文化財に限定した管理事業。現在、町内には8件の国指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。				雲越家、戸部家については屋根職人と打ち合わせ。				事業実績				
	基本事業		01		文化財の保護				②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				主な文化財の見学者数(雲越家住宅・旧戸部家住宅)				
組織名		生涯学習 課		生涯学習 係				国指定文化財の老朽化が目立ちはじめている。 ○雲越家住宅・・・茅葺き屋根、消防用設備 ○旧戸部家住宅・・・茅葺き屋根、消防用設備 ○矢瀬遺跡・・・遺跡復元施設(復元住居等) 特に雲越家と戸部家の茅葺き屋根の老朽化が目立つ。 戸部家については大規模改修まで数年かかり、それまで維持するための養生工事(1,800千円)が必要。				旧戸部家住宅、雲越家住宅、矢瀬遺跡については、毎年少しずつ修繕を行うことにより、数千万以上の大規模改修をしなくて済むよう、計画的に修繕を行う。				令和 4年度		令和 5年度		単位	
事業 期間	継続事業		会計	1	款	10	項	5	目	4					200		100		人		

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000004		埋蔵文化財調査事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		0 円					
施策 体系	施策		21		文化財の保存と活用				埋蔵文化財包蔵地で開発が行われる場合に、事前に試掘調査を行う。				試掘調査の機会はなかった。				事業実績						
	基本事業		01		文化財の保護												埋蔵文化財包蔵地確認(照会)						
					②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策														
組織名		生涯学習 課				生涯学習 係				いつ、調査が必要になるかわからないため、常に調査研究を行い準備をしておく必要がある。また、出土遺物を資料館等で展示しなければならない。				今後も周知の埋蔵文化財包蔵地内での開発事業(特に太陽光パネル関係)があることが考えられるため、常に調査研究を行い発掘調査に備える。				令和 4年度		令和 5年度		単位	
事業 期間		継続事業		会計		1 款		10 項		5 目		4		36				36		件			

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000001		月夜野郷土歴史資料館管理運営事業					① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		2,522,904 円		
施策体系	施策		21		文化財の保存と活用					月夜野郷土歴史資料館の管理運営				○資料展示 展示内容を30%変更した。また、与謝野晶子紀行文学館から資料を借用して若山牧水特別展を開催した。				事業実績			
	基本事業		02		文化財の活用													来館者数			
												②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策					
組織名			生涯学習 課					施設管理 係					○展示関係 資料館としてのマンネリ化を防ぐため、定期的に展示替えを行うなどの工夫をする必要がある。				令和4年度から令和5年度にかけて来館者数は増加した。さらに来館者が増加するよう展示替え、特別展示等を実施していきたい。				
事業期間		継続事業			会計		1 款		10 項		5 目		3		令和 4年度		令和 5年度		単位		
															269		421		人		

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000002		水上歴史民俗資料館管理運営事業					① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	77,370 円								
施策 体系	施策		21		文化財の保存と活用					水上歴史民俗資料館の管理運営				収蔵物、施設がこれ以上老朽化しないよう最低限の維持管理を行った。				事業実績								
	基本事業		02		文化財の活用													来館者数								
												②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策										
組織名			生涯学習 課					施設管理 係					施設はかなり老朽化している。安全管理上の理由で現在、休館状態にある。				収蔵物、施設がこれ以上老朽化しないよう最低限の維持管理を行う。				令和 4年度		令和 5年度		単位	
事業 期間		継続事業			会計		1	款		10		項									5		目	3		35

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000003		雲越家住宅資料館管理運営事業										① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		305,053 円							
施策体系	施策		21		文化財の保存と活用										雲越家住宅資料館の管理運営	専門の屋根職人に相談して、修理すべき箇所を特定し経費見積もりを作成した。	事業実績														
	基本事業		02		文化財の活用												来館者数														
組織名				生涯学習 課				施設管理 係						②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策													
事業期間				継続事業				会計		1 款		10 項		5 目		3		老朽化、または主に積雪により茅葺き屋根の破損が目立つ。				国指定文化財であることから修繕・展示変更等が難しいが、ルールに基づいたうえで改修計画をつくる。				令和 4年度		令和 5年度		単位	
										1		10		5		3						135		100		人					

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000004		永井宿郷土館管理運営事業										① 事務事業の内容			③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	500,000 円		
施策体系	施策		21		文化財の保存と活用										永井宿郷土館の管理運営を永井区に指定管理に出している。			なし			事業実績		
	基本事業		02		文化財の活用																		
															②事務事業の課題			④今後の方針・課題解決策			来館者数		
組織名			生涯学習 課			施設管理 係			永井区から指定管理料の値上げを要望されている。			なし			令和 4年度			令和 5年度		単位			
事業期間		継続事業		会計	1 款	10 項	5 目	3							394		391		人				

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000005		猿ヶ京関所資料館管理運営事業										① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		1,212,778 円		
施策体系	施策		21		文化財の保存と活用										猿ヶ京関所資料館の管理運営				茅葺き屋根については専門業者に見てもらい、経費をおさえた修繕の計画をたてている。				事業実績			
	基本事業		02		文化財の活用																		入館者数			
												②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策										
組織名				生涯学習 課				施設管理 係				茅葺き屋根、板戸、室内漆喰など施設の老朽化が目立つ。				県指定史跡であり様々な規制がある。ルールの中で適正な手続きにより修繕を行っている。				令和 4年度		令和 5年度		単位		
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項		5 目										3		463		693		人